

全国に広がるG.system導入。活用実現」「成果が見えた」とお客様から

全国的に業種を問わずG.systemの導入が広がっています。実際に導入した企業の事例から見えてくるのは、低コスト、短期間で簡単にインストールしたシステムを構築していくプロセスが導入成果の大きな要因となっています。また、導入企業に共通するのは、導入への強い

導入レポート1

「経営品質」を標榜し日々進化するシステムに【株式会社ヤマウラ】



業務改革の必要性を感じ全社レベルで導入したグループウェアが思うように成果をあげていなかった時、建設業向けのITイベントでG.systemと出会い、その日にG.systemの導入を決意されました。G.system導入によって実現できたことのひとつに、認証ラインのデジタル化があります。それまで、起案から決裁まで5つ6つの認証印を押して回る必要があったものが起案、審査、承認の3つのシンプルな認証に集約できました。この集約する過程で、どこから手をつけていけば良いのかわからなかった業務改善が行え、結果として業務改革が実現できたと話されています。現在、「経営品質」を標榜し、自ら継続的な改善を行いながら日々進化するシステムとして運用されています。

■株式会社ヤマウラ

長野県駒ヶ根市に本社を構える、建設・エンジニアリング・ヒューマンウェア事業を擁する複合型企業。社員数は約300名。

(株)ヤマウラ 電算室 春日 公明氏

以前はロータスノーツというグループウェアを使っていたのですが、人事異動があるとメールボックスの移動などで朝から一日かかりりになっていました。また、導入価格が高価であるということや、画面や使い勝手が悪く社内でメールの行き来が上手く機能せず問題となっていました。そんな中G.systemは、まさに目から鱗が落ちるような私たちが思い描いていたシステムでした。

導入レポート2

Outlookでここまで出来るとは思いませんでした。【有限会社ファインモールド】



製造業の経営環境が厳しくなる中、今の仕事のやり方ではダメだと、ITを導入した業務改革に挑戦された事例。業務改革ツールをいろいろ探されたが、自分達にぴったりのものが見つからず困っていた時に紹介されたシステムがこのG.system。Microsoft Outlookでここまで出来るとは思いませんでしたというのが正直な感想だとか。業務フローを改善する前に「現状がどうなっているのか?」を分析するツールとしてもG.systemを活用し、問題点を明確に。「やらないか!」というチャレンジ精神から小さく始めて大きく育てようと全員一丸となって取り組み、2003年4月に運用開始後、わずか2ヶ月で改訂にこぎつけました。導入の成果は、設計から生産現場の流れがスムーズになり、納期が目に見えて短縮。納期が短くなれば当然、売上げも増加、さらに社員の意識も向上し積極的な提案も増えました。

■有限会社ファインモールド

静岡県浜松市の各種金型設計製造(特にプラスチック精密金型)企業、主に四輪や二輪車のパーツの金型を製作。社員数は10名。

(有)ファインモールド 主任 大城 博氏

業務改革を行っていく上で実際に社員達に「どうやって何を使ってもらえばいいのか?」「どのようにIT化すれば効果があるのか?」全く初めての試みで決め手がなかった時にG.systemと出会いました。

WordやExcelも全て扱える点も素晴らしいし、何といっても自分達で変えていけるという自由さ、これしかないなと思いました。失敗してもやり直したらいいやという気持ちが成功の要因でした。

